

【問題】

次頁以下に掲げる文章は、若松良樹「自己決定権は生き残れるか？」那須耕介・橋本努編著『ナツジ！？——自由でおせっかいなリバタリアン・パターナリズム』（勁草書房、二〇二〇年）（一一―四四頁）からの引用である。この文章を読み、次の問いに答えなさい。

問一

「リバタリアン・パターナリズム」の特徴と、「二つの道」（傍線部（1））の共通点および相違点を整理した上で、「リバタリアン・パターナリズム」は「二つの道」のうちいずれの道と親和性が高いとすることができるか、筆者の見解に即して説明しなさい。（二〇行以上三〇行以内）

問二

「リバタリアン・パターナリズム」という理論的な磁場のもとで理解される結果、問題解決のために必要な規制手法も限定的に理解される危険がある」（傍線部（2））ということの意味と、それが「リバタリアン・パターナリズム」との関係ではらむ理論的な問題点について、筆者の見解に即して説明しなさい。（二五行以上二五行以内）